

ほっと安心 ふっと嬉しい 個別的日常生活支援ガイド

所属 組 氏名 G子 策定責任者 策定年月日 平成 19 年 4 月 1 日

1. <起床>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
	<ul style="list-style-type: none"> 居室に音楽を流しておく 	<ul style="list-style-type: none"> 起き上がってラジオを聴いている事が多い。「おはよう」と一声掛け着脱をしてもらおう。起きていても、布団にくるまっていることがあるので、そんな時は、静かに布団をめくり、「朝だよ祥代さん」と一声かける。 	<ul style="list-style-type: none"> 遅くまで寝ている時（特に帰省後の月曜日）がある。無理に起こさず、本人の目覚めを待つ。 他のメンバーが居室に入ると嫌がることがあるので気をつける。

2. <着脱>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> 介助で着替える 	<ul style="list-style-type: none"> 靴下着用。 	<ul style="list-style-type: none"> 上衣は「はい脱ぐよ」と声をかけるとばんざいしてくれるのでゆっくりと脱いでもらう。 トレーナー、肌シャツ、ポロシャツと一枚一枚声をかけると、手を前に出してくれるので、腕を通し首まで掛ける。 下衣は立衣で職員の方に手を置いてもらい片足ずつ脱いでもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> 体に力が入っている時は、無理に着脱してもらうのではなく優しく腕を持ち、ゆっくりとあげてもらう。

3. <洗面>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> 洗面台まで来る事ができる 	<ul style="list-style-type: none"> タオル使用 	<ul style="list-style-type: none"> 「顔洗うよ」と声をかけ、洗面台まで誘導する。 濡れタオルを使用し、優しく丁寧に拭く。（目や口の周りは拭き残しがないように気をつける） 	<ul style="list-style-type: none"> 「きれいになったね。」と声をかけてあげると喜ぶので、声掛けを忘れない。 洗面台の前に自分から来たときは「すごいね」の声掛けをする。待たせないように注意。

4. <食事>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> 専用スプーンを使用し口まで運ぶ。 自分でコップを持ち運ぶ。 色で食べたいものを選ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> 食堂にラジオを流しておく 専用スプーン、フォーク、すくいやすい皿、エプロンを使用。 大き目の物、麺類は、小さく刻んでく。 味噌汁を青いお碗に、お茶を黄色のコップに移しておく。 おかわりを用意しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> 『ご飯が通る』を手拍子付で歌い食堂に誘導する。 手をたたいて「いただきます」と言い、食事の始まりを伝える。 すくいやすい皿に、ご飯とおかずを少しずつ入れ、スプーンですくい手渡す。 手をたたき味噌汁、お茶の要求をしてくれるので、目の前に差し出し選んでもらう。（どちらも違うときは他のおかずが欲しいサインのときもある。） 頬を手で触れ、「おかわりだよ」と伝え、おかわりをしてもらおう。 エプロンをはずして「いただきました」と言い、食事の終わりを告げる。 歯磨き トイレ ラジオの順番があるので、ボディサインで伝え、フロアーに誘導。 	<ul style="list-style-type: none"> 味噌汁、お茶を本人が選びやすいよう目の高さに持っていく。 「とおちゃ、かあちゃ」と口にする時は本人の話に耳を傾け、歌の要求があるときは一緒に歌いながら楽しく食事ができるようにする。 食事の誘いに立たないときは、ラジオをまだ聴いていたいのかもしいない。「またあとで誘いに来るから」と声をかけ、しつこく誘わない。 食堂内が騒がしいときは、誘っても動かないときがある。静かになってから誘ってみる。 自分から手をたたいて食堂にきてくれるときがある。しっかり評価していく。 食事後、席を立たないときは、ゆっくりお茶を飲みたい、職員と話がしたいと思っているかもしれないので、無理に誘導しない。 食事の準備に入る前に、「もうすぐご飯だよ」と一声かけておくと、本人も分かりやすい。

5. <歯磨き>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
・介助で磨く	・電動歯ブラシ	<ul style="list-style-type: none"> ・寝てもらい歯ブラシを歯と歯ぐきにあて、人差し指を口の横から入れ、左右に優しく磨く。 ・1分以上磨く。 ・口の中に食べかすが溜まりやすいので、水をしっかり飲んでもらう。 ・歯磨き後、ボディサインと声掛けでトイレに誘導し、排泄担当者に手から手へ引き継ぐ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・無理に指を入れるのではなく、あごに優しく触れ徐々に口を開けてもらう。 ・歯磨きはあまり好きではないので、すぐに終わりにしたがるが、「もう少し頑張りよう」「1, 2, 3・・・」と声をかけながら磨く。 ・寝転んだときに、歌の要求があれば一緒に歌い、コミュニケーションをはかる。 ・歯磨き後、「よく磨けたね」の声かけを忘れない。

6. <排泄>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> ・洋式トイレを使用 ・排泄後、手を洗うことができる。 ・オムツ使用 		<ul style="list-style-type: none"> ・お腹をポンポンとたたき、トイレに誘導。 ・マットの上に寝てもらい、排泄確認。 ・「手を洗うよ」の声掛けをし、手を洗ってもらう。 ・排泄後、過ごすかを本人に選んでもらい誘導。 ・オムツかぶれができやすいので、きれいに拭き、場合によっては、紫雲膏を塗る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレで待たせないように気をつける。 ・「よく来たね」の声掛けをする。 ・排泄失敗のときや、気分によっては誘っても動かないときがある。無理に誘わず、「もう少し後で行こうね」と声をかけて様子を見る。「一緒に行ってみようよ」など、本人が行ってもいいかな、と伝えるような声掛けを心がける。 ・音楽の聞こえが悪くて泣けてしまうときがある。「おもちゃのちゃちゃちゃ」などの本人の好きな歌を歌い落ち着けるように配慮する。

7. <入浴>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
・介助で洗う	・脱衣場にラジオを流しておく	<ul style="list-style-type: none"> ・『お風呂じゃぶじゃぶ』の歌を手拍子付で歌い、脱衣場に誘導。前から両手を持ち、段差に気をつけ浴槽に誘導。介護椅子に座ってもらう。 ・両手を持って浴槽に誘導。片足ずつゆっくり入ってもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・浴槽に入るとき、ラジオを浴室に向け、よく聞こえるようにする。 ・滑りやすいので、ゆっくり誘導。 ・腕を無理に上げるのではなく、手を軽く添え、本人の動きに合わせる。 ・長湯が好きで、浴槽の中で体を動かしながらリズムを取っているときもある。十分入ってもらえるようにする。

8. <就寝・夜間>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
	・居室にラジオを流しておく(日曜日は童謡のMDを流す)	<ul style="list-style-type: none"> ・夕食後、居室へ移動し、オムツの確認をする。 ・パジャマに着替える。 ・終礼後、様子を確認し、布団へ誘導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・布団の上で、抱きついてきたり、歌の要求をしてくるときは、しばらく一緒に歌を歌って過ごす。 ・布団からはみ出しているときが多いので、布団を掛けなおしてあげる。 ・ラジオ放送が終わってしまった後、起きてしまった場合は、MDにかえる。 ・夜間は音量を下げて聞くように支援する。

9. <爪切り>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
全面介助		<ul style="list-style-type: none"> ・「爪きりするよ」と声掛けをし、優しく手を添えて切る。 ・手、足を出してもらって持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本人と係わりを持ち爪切りをすることを話してから行う。 ・本人ひっこめたら、無理にしない。

10. <耳そうじ>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
全面介助		・「耳そうじするよ」と声掛けをし、横になってもらう。	・本人と係わりを持ちながら行い、嫌がるようなら無理にしない。

11. <ひげ剃り>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容

12. <移動>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
〔室内〕 ・自分であるくことはできるが目が不自由なので、背中を支えて本人の足取りに合わせて一緒に移動する。	屋内 ・靴下をはいてもらう。	・立ち上がるまでに時間がかかるときもあるので、無理に立たせず、説明をして軽く手助けをして立ってもらい、背中を支え一緒に進む。 ・目が不自由なので、段差があるときや歩きにくいところは、「段差があるよ」など声掛けをする。	・無理に移動させず、歌を歌ったりして本人が動こうと思ってから移動するようにする。
	屋外 ・車椅子を使用して移動する。 ・短い距離は少し歩くので、手を引いて歩く。 ・外へ出るときには携帯用のラジオ（本人のもの）またはラジカセを必ず持って出かける。 本人の好きなものを聴けるようにする。	・車椅子に乗って移動する。乗るまでにどうして移動するのかをしっかりと説明し、本人の意思で立ち上がり乗ってもらう。	・室内同様

13. <健康>

一般的な健康状態（体力、疲れ易さ、風邪のひき易さ等）	てんかんの状況と対応 （発作の有無・服薬の内容・原因と思われること・発作の状況や対応）
・風邪をひくことがある	・てんかん発作 無
風邪・発熱時の状況と対応 （症状のおよその傾向と対応・静養の仕方・食事への配慮・検温の仕方等）	内科的疾患（腹痛・下痢・便秘等の状況と対応）
静養の仕方 ・静養することが困難なため、厚着をしてもらう等服装に留意する。38℃をこえた場合、パルタレン25mmを使用する。 食事について ・食欲が落ちることはほとんどないが、咀嚼しやすいように細かく刻んで食べてもらう。水分はしっかり取れるので、しっかり飲んでもらう。 検温の仕方について	下痢 ・特に問題ない 便秘 ・特に問題ない

<ul style="list-style-type: none"> ・後から本人の体を支える(寝ていられる時には横になってもらう)。わきの下に体温計をはさみ測定。歌を歌いながら測定するとよい。 係わりについて ・前もって本人に説明をし、検温や血液検査をする。 	
皮膚科的疾患(水虫・アトピー性皮膚炎・脂漏性湿疹等の状況と対応)	その他の疾患(耳鼻咽喉科・眼科等の状況と対応について)
<ul style="list-style-type: none"> ・水虫になりやすいので気をつける。 ・冬季はしもやけになりやすいため、靴下を着用。 ・風邪をひいた後、季節の変わり目にヘルペスになりやすい。 	・特に問題ない
視力・聴力	内服薬の服用方法
<ul style="list-style-type: none"> ・目が見えないため、歩行、移動には十分に気をつける。(後天性) ・人、物があるとよけることはできる。 ・明暗、色別ができる。 ・追視ができる 	・錠剤はすりつぶして粉薬にし、オブラートで包み食事といっしょに服用してもらう(食後の服用は困難)。
外用薬等の使用方法	本人の異常(発熱・頭痛・腹痛・歯痛)の訴え
外傷 <ul style="list-style-type: none"> ・絆創膏、包帯は可能。膝をけがした場合には唾液で汚れてしまうことがあるため、サポーターを履いてもらいガードする。 目薬 <ul style="list-style-type: none"> ・目が不自由なため何をされるのか不安になっています。事前に「<input type="text"/> するからね」等の声掛けを必ずしておくこと。 	・本人からの発信はわかりにくい

14. 通院の状況

通院の状況	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> ・職員と一緒に通院する 	<ul style="list-style-type: none"> ・病院へ行くことを事前に話しておく 	<ul style="list-style-type: none"> ・病院で長い時間待つことができないため、時間がかからないようにしておく ・時間がかかってしまう時には、車で待つことができる

15. 身の回り品等の整理整頓

整理整頓の状況	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> ・職員が行う 		

16. 金銭管理と使用

管理と使用の状況	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> ・職員が管理する ・1ヶ月3千円のお小遣い。 		

17. 電話

掛けている状況	支援の方法	心づかいの内容
・職員が電話を掛け、間に入って代弁する	・電話のところまでは来ることができる	・毎週末に帰省しているが、帰れない週末等には、母に電話するか本人に確認する

確 認		
園 長	主 任	保 護 者
月 日	月 日	月 日